

【青鵲課題研究プレ】基礎理科実験

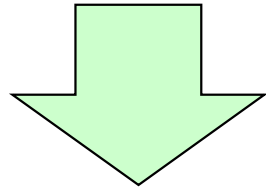
レポート相互評価について

本時の内容

- (1) レポート相互評価の意義
- (2) 相互評価の項目・方法
- (3) 相互評価 **(実習)**
- (4) 諸連絡

レポート相互評価の意義

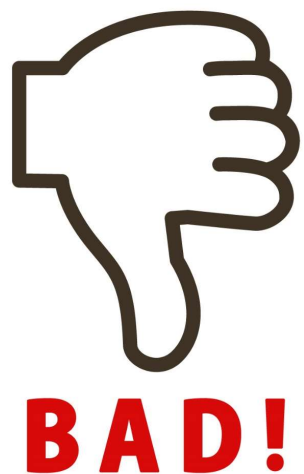
伝わるレポートが良いレポート！



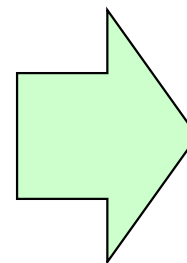
読者の視点で見直し！



わかりやすかった
工夫されていた
自分も取り入れたい



わかりにくかった
誤植・不備がある
改善方法の提案



自分のレポートへ

意見の提示は**相手のため**！

相互評価の**項目**

「レポートの作成について」で確認！

相互評価の方法

良かったところ

改善点

化学反応速度

研究の内容が伝わりやすい

番号と名前を正確に書いている

2627 ○○○○ 2629 ○○○○ 2630 ○○○○ 2633 ○○○○

要約

できなかつたことを書く必要はない

当初の予定では触媒を用いた化学反応において、触媒の種類による化学反応の変化の仕方（均一触媒と不均一触媒の違いなど）について研究するつもりだったが、さまざまな問題が生じてきたため、温度、濃度、表面積の条件を変えて実験した。どの実験も条件を変えると予想した結果に近いデータが取れた。

明らかなことを書いている

1.目的

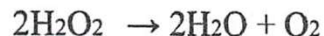
過酸化水素の分解には触媒となる二酸化マンガンをを用いる。そこで、他に分解を促進させる物質はないのか、また、条件を変えて実験をするとどうなるのかを調べる。

行為は目的ではない

2.理論

予備知識を説明しようとしている

化学反応式



実験で発生した酸素の量を測れば、化学反応の速さが分かる。

説明が足りない

触媒となる物質（二酸化マンガンをや塩化鉄（Ⅲ））を入れ、過酸化水素水を触媒側に傾け、分解反応を促進させる。

※凸の有無をきちんと確認する。

②二股試験管につながれたゴム管を通じて発生する酸素を水上置換法で水槽にあるメスシリンダーに溜める。

※メスシリンダー内の空気を完全になくす。

③メスシリンダーに溜まっていく酸素を一定時間（15秒）毎に測定していく。

※凸型メニスカスの上面を見る

実験の工夫をいろいろ

赤ペンと

青ペンで

コメント記入！

① レポートを最後まで通してを読む

② 赤ペン で記入！

良かった（工夫されていた） ところ

わかりやすかった ところ

自分のレポートに取り入れたい ところ

③ 青ペン で記入 !

わかりにくかった ところ

誤植・不備

改善案（良くするための提案）

よかった点も 改善案も たくさん！

A background image showing a business meeting. Three people are seated around a white table, looking at documents and holding pens. The documents contain charts and graphs. The scene is brightly lit, suggesting an office environment.

相互評価しよう！

♪ 15分でローテーション

自分のレポートを**振り返る**

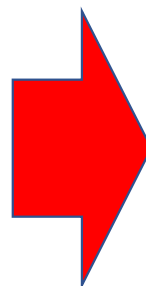
今後の予定

実験
①

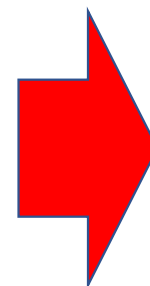
実験
②

レポ[°]ート作成

相互評価



リライト



教員が評価

レポート提出の方法

データをコピー

ファイル名 「16〇〇実験レポートリライト」

四桁番号, **すべて全角**, スペースなし